

耐候性

屋外で使用が可能な床材であることを示しています。



マンションの開放廊下やルーフトバルコニーなど、屋外に使用される床材は、直接日光に含まれる紫外線や雨水など、自然環境による変質・変色や、劣化に耐える性能が求められます。なかでも紫外線は、合成樹脂材料を変色・劣化させやすいため、この要因にどれだけ変化しないかが耐候性の目安になります。また実際の施工状況では、紫外線その他、寒暖の温度変化や雨水などの要因が重なりあって床材を劣化させるため、個別の性能試験だけでは、十分な耐候性能を把握することができません。タキロンシーアイでは、タキストロンをキセノンウエザオメーターによる紫外線照射と温度、水の複合的な促進試験を3000時間試み、その変化を観察しました。さらに実際の太陽光線や気候変化にさらされる屋外に放置し、その変化を観察しました。

1 耐候性促進試験

JIS K 7350-2

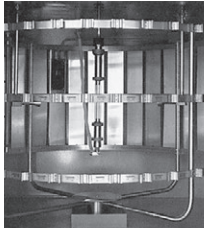
(プラスチック-実験室光源による暴露試験方法-第2部:キセノンアークランプ)準拠
当社においては、太陽光によく近似したと言われるキセノンアーク光源による耐候性促進試験(JIS K 7350-2)で、直接屋外暴露をシミュレートしたA法により、耐候性試験を行います。

※A法(人工光源暴露試験)…直接屋外暴露をシミュレート

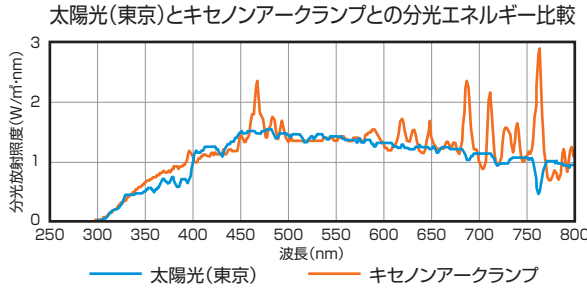
※B法(人工光源アンダーガラス暴露試験)…窓ガラスを透過した日光暴露をシミュレート

耐候性 (キセノンアーク促進暴露試験) 放射照度 0.51 W/(m ² ·nm)[340nm] 水噴霧サイクル 120分中18分間	JIS K 7350-2(人工光源暴露試験)に準拠 ブラックパネル温度 63±3℃
--	--

試験方法



キセノンアークランプ式
耐候性試験機



2 屋外暴露試験

試験方法

<自社法>

高温多湿、日射量、海塩粒子など、自然の劣化因子が豊かな沖縄(宮古島)にて、試験を行う。

試験結果

※当社基準による評価

※数値は試験値であり、保証値ではありません。

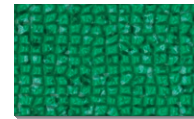
※数値は予告なく変更される場合があります。

タキストロン MT-403

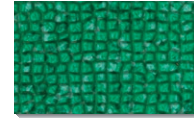
元資料



1年



2年



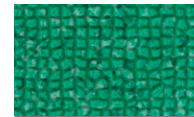
3年



4年



5年



試験結果

※当社基準による評価

※試験結果は試験値であり、保証値ではありません。

※試験結果は予告なく変更される場合があります。

※画像の縮小率は、製品によって異なります。

タキストロン

	MT-403	RA883	ST-711
元資料			
1000時間			
2000時間			
3000時間			

タキストロンは、3000時間による促進試験後も外観・色相・物性に大きな変化は見られません。また、5年経過した沖縄での屋外暴露試験でも、わずかな退色が見られる以外、その物性に大きな変化は見られませんでした。

項目	タキストロン	
	3年後	5年後
外観	ほぼ変化なし	ほぼ変化なし
色相	ほぼ変化なし	ほぼ変化なし
引張強さ保持率	85%	85%
伸び保持率	65%	65%
引裂き強さ保持率	90%	80%

試験データ

P.196

法規関連

P.218

工法・下地

P.229

施工手順

P.247

接着剤・副資材

P.314

副資材

品番一覧

P.328

メンテナンス

注意

P.333